



北 中 だ よ り

学校教育目標「自ら考え なかまと磨き合う 北中」

菊池北中学校
学校だより
No22
文責 芹川博文
10月 4日(金)

GRIT 力で 帰宅後の生活を変えていく

～ 自分の意志で 「変わり続ける自分」を体感する ～

令和4、5年度の北中学校教育目標は、「GRIT」がキーワードでした。今の2、3年生はしっかりと覚えていることでしょう。平野 忠博 前校長先生が寄贈されたサッカーボールにも「GRIT 1号」と書かれています。この「GRIT 力」で「自己コントロール力」をアップし、帰宅後の生活を見直してほしいと願います。

「GRIT」の意味

G uts : 「闘志」 困難なことに立ち向かう

R esilience : 「粘り強さ」 失敗しても諦めない

I nitiative : 「自発」 自ら目標を定めて取り組む

T enacity : 「執念」 何事も最後までやり抜く

GRIT 力を高めるためのポイント

- 1 今より少し難しいことに挑戦する
- 2 成功体験を積み上げる
- 3 挑戦する事柄は変えてもよいとする
- 4 グリットを持つ、持ちたい人と行動を共にする
- 5 グリットを持つ人をトップがたたえる
- 6 短期だけでなく長期目標を視野に入れる

上のように、要は「失敗しないこと」ではなく、「目標を決めて粘り強く挑戦し続けること」です。帰宅後の時間は限られています。是非、「させられる」のではなく、自分の意志で生活を見直してほしいと考えます。

ポイントとなる大きなものは5つだと思います。

- ◆学習時間 ◆スマホやゲーム等の時間
- ◆習い事や手伝い等の時間
- ◆寝る時間 ◆起きる時間

野球の大谷翔平選手は、花巻東高校の佐々木洋監督から教えてもらった「先入観は可能を不可能にする」という言葉を胸に、高校生の時163kmという目標を設定したそうです。

「どうせ無理」という思いに負けず、GRIT 力で、帰宅後の生活を見直し、「変わり続ける自分」を体感してほしいと願います。

この力は、大人になっても役立つはずです。

僕はプロになってから928回も三振していて打たれたヒットの数は647でホームランは59本打たれしかも失点数は全部で281チャンスで506回凡退してケガで692日間も投げられなくて試合に負けて泣いた日もたくさんあったし二刀流が無理だと言われたことは数えきれないでも、二刀流が無理だと思ったことは一度もない失敗の数だけ、僕たちは成長できる次の世界へ

大谷 翔平

※2023（3月）WBC 時のコマーシャルより

「いざという時、どう行動できるか」を日々鍛える

「火事といっても色々な状況があります。どうするか『引き出し』を持つことが大事」とは、避難訓練時の消防士の方の言葉です。命が最優先ですが、中学生ともなると、いざという時、どう行動できるかを日々想定し、鍛えておくことが大切です。

連日報道される輪島の人々の姿。壮絶な中を過ごされているその姿からも、「日常」が当たり前ではないこと、その時どう行動できるのかを、考えさせられます。



咲きました！今年の「北中菊」 第1号

「ついに咲きましたよ、第1号の菊です。」と、竹下先生が持ってこられました。見ると小さいながらも、力強さが感じられる菊の花。これから、続々と咲いてくれることでしょう。

生徒も先生も、北中全員の名前が記された一人一鉢の菊。どんな花が咲くのか。菊池市菊まつりや菊心祭が楽しみです。

